

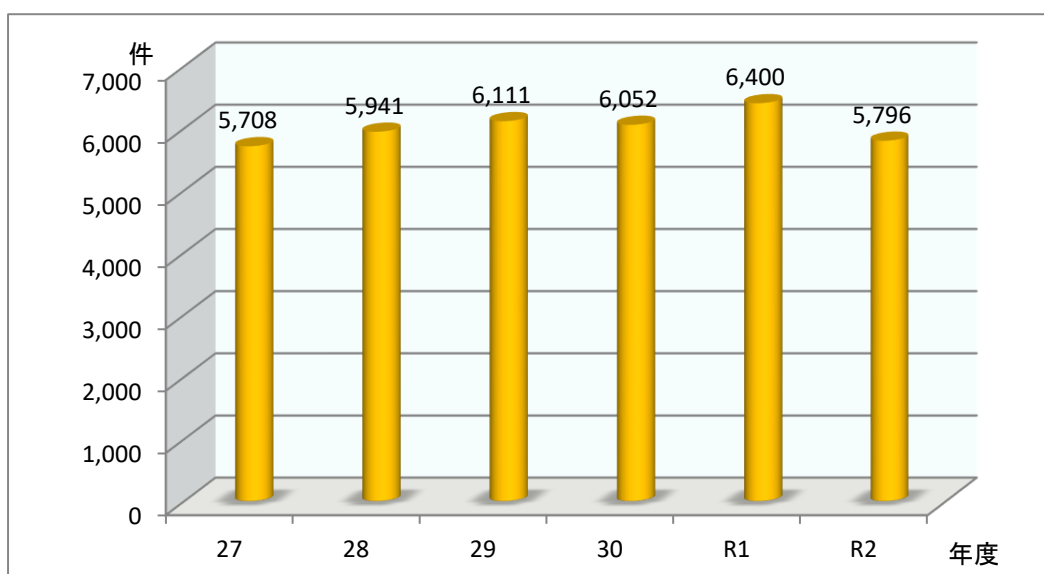
2 手術室内での手術件数

解説

国立大学病院は急性期医療の要であり、外科治療の力が問われます。その指標の一つが、手術件数です。

外科医、麻酔科医、看護師、手術室等のリソースは有限ですが、限られたスタッフと場所で効率的な運用をし、いかに手術件数を確保できるかが重要です。手術スタッフ、設備、手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。

実績



自己点検評価

令和2年度には新型コロナの影響で多少落ち込んだものの、引き続き高い水準を維持しています。特定機能病院として主に重症患者を受け入れ、心疾患、運動系疾患、消化器系疾患など多岐にわたる手術をしています。また、令和元年度にはハイブリッド手術室を増設しさらなる高難度な症例に対応できるよう努めております。今後も医師・看護師・放射線技師・臨床工学技士などのスタッフの連携のもと、安全で良質な手術を提供するとともに効率的な運用に努めます。

定義

手術室で行われた医科診療報酬点数表区分番号K920, K923, K924(輸血関連)以外の手術(医科診療報酬点数表2章第10部手術に記載された項目)の件数。
ただし複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。レセプト算定ベースで算出しています。

算式

実数